

令和6度 日向市立細島小学校 自己評価及び学校関係者評価

学校経営ビジョン：すべては、細島小の子どもたちと細島地区の人々のために

【評価基準 4段階評価 4…期待以上 3…期待通り 2…やや期待を下回る 1…改善を要する】

重点指導項目		目標及び取組 (○…目標 数字…取組)	評価内容及び結果	自己 評価	改善策	委員 評価	学校運営協議会での意見や回答など
命を大切に する心情と 実践力の 育成	1 特別支援教育を基盤に、 道徳教育の充実、日々の児 童との交流により、望まし い人間関係づくりと命と 人権を大切に する心情と 態度を育てる。	1 いじめの未然防止と迅速対応 (1) 悩みアンケートの実施やその後教育相談、はぐくみサ ポート会議の充実によりいじめの早期発見に努める。 (細島小きずなプラン「学校いじめ防止基本方針」) 2 議論する道徳を通した実践 (1) 道徳科の充実と人権感覚の育成 (異なる立場の尊重、様々な人との交流、無言清掃(異 学年)など) (2) ポジティブな態度の育成 (スムーズスタート、ポジティブな木)	【アンケート質問項目】 自分がされて嫌なことは、友だちにしていない。 (結果) 児童…3.5 保護者…3.3 地域…3.8 職員…3.4 毎月の悩みアンケートと教育相談の実施を行うことで、 大きな事柄になる前に対応できた。 また、はぐくみサポート会議で、全職員で共通理解を固 り、共通実践できた。 【アンケート質問項目】 家族や友だちから大切にされている。 (結果) 児童…3.7 保護者…3.8 地域…3.6 職員…3.5 【アンケート質問項目】 友だちに優しくできる。 (結果) 児童…3.5 保護者…3.3 地域…3.6 職員…3.1 「いのちを大切に学習」や「特別な教科 道徳」の 指導改善・工夫等の実施により、概ね良好であった。しか し、個別指導を必要とする児童がみられた。	4	1 いじめの未然防止と迅速対応 今後も継続して、悩みアンケートの実施及び その後の教育相談の実施に取り組む。 「いのちを大切に学習」や「いのちの大 切さを考える週間」の実施し、保護者や地域 の方に参観する機会を設ける。 2 議論する道徳を通した実践 今後も継続して、「特別な教科 道徳」の指導 改善・工夫を行い、各教科、全領域において の人権学習の指導の工夫を行う。	4	○ 避難訓練では、逃げる場所は決めているのだ ろうか。避難訓練はいろいろな場面を想定して 実施したほうがよい。(遠足、修学旅行、下校中) ○ 避難訓練は、月一回想定場面を変更して行っ ている。大きな地震の場合は、避難ブリッジが 使用できない場合もある。その場面も想定しな がら実施している。更に児童の力を高めていき たい。 ○ 地域とともに避難訓練を行い、児童の意識を 高めていくとよい。液状化の可能性もある。液 状化について理解を深める必要がある。 ○ 公民館職員と協力して、避難訓練を継続して いくとよい。
	2 日常的な防災学習の充実に より、児童及び職員の危機予知 力や危機回避力を育てる。	1 防災学習と連動した避難訓練 (1) 「地震・津波」避難訓練の毎月実施(様々な状況を想 定する。) (2) 「火災」避難訓練の実施、外部機関を招いた不審者侵 入対応研修の実施	【アンケート質問項目】 地震や津波が起きたときに正しい行動ができる。 (結果) 児童…3.7 保護者…3.3 地域…3.8 職員…3.4 毎月の避難訓練の実施により、児童の避難への意識の向 上や迅速な行動が見られた。		1 防災学習と連動した避難訓練 毎月の避難訓練を実施するとともに、外部の 関係機関と連携を図り、更に防災教育を推進す る。		
確かな学力と健康な 体の育成	1 児童の実態に応じた柔軟な 学習指導過程ときめ 細かな指導により、児童に 分かる喜びや学ぶ楽しさ を実感させる。	1 児童の実態に応じた授業改革 (1) 授業力向上プロジェクトの推進 (日知屋小、日知屋東小、富島中) (2) 学習規律の徹底と教育環境整備 (学習の約束、教室内掲示物の統一) (3) 花まる先生の授業力活用 (4) 読書活動の推進 (図書主任、図書司書による図書館の環境整備) 2 学びの時間の充実 (1) 音読できる力・読解力の向上 (2) 基礎学力向上 (タブレットドリルの活用)	【アンケート質問項目】 国語の学習に意欲的に取り組んでいる。 (結果) 児童…3.5 保護者…3.1 地域…なし 職員…3.1 【アンケート質問項目】 算数の学習に意欲的に取り組んでいる。 (結果) 児童…3.6 保護者…3.2 地域…なし 職員…3.3 全職員で主題研修を算教科中心で行い、ひなたの学習を 取り入れた学習指導の実施し、児童の意欲の向上を図るこ とができた。また、さんさんタイムで、書く力が計算する 力を高める指導を全職員で行うことができた。 【アンケート質問項目】 進んで図書室で本を借りている。 (結果) 児童…3.2 保護者…2.8 地域…3.5 職員…3.1 低学年69.1冊、中学年33.9冊、高学年28.7冊と図書室 を利用している児童が多かった。しかし、家庭での読書時 間の確保が課題である。	3	1 児童の実態に応じた授業改革、学び の時間の充実 今後も継続して、「ひなたの学び」を取り入れ た授業改善に取り組み、児童の興味・関心を高 める。また、花まる先生の活用を推進し、個別 指導の充実を図る。 そして、家庭・地域と連携した読書指導の充 実を図るとともに、職員のICT活用力を高め、 タブレットの活用を図り、学習意欲の向上につ なげる。	4	○ 教師の教材の準備がとてよい。児童にとっ てありがたい。しかし、児童の学習の取り組み 方に差を感じる。児童の意識を高めることも大 切である。 ○ 姿勢がよいとはいえない。机が狭いか、鉛 筆などを落とす場合があった。机を広くするこ とはできないか。 ○ 教科書、ノート、タブレットと日ごろ使う道 具が多くなっている。場面ごとに応じてしっか り使用させたい。また、教育委員会やPTAと も協議して、補助具などの購入ができないか検 討していきたい。 ○ 給食はしっかり食べているのであろうか。食 の指導の充実が大切である。 ○ 給食は、時間内に食べられるように量を調節 している。食べきりになっている。しかし 残さいは0ではない。今後も給食指導に工夫し て取り組みたい。
	2 教科体育と体育的行事 の充実、保健衛生指導の充 実により、児童に健康な生 活習慣と実践力を育てる。	1 行事と関連した体育科の充実 (1) 体育的行事の推進 (運動会、ロードレース大会の実施) (2) 体育科指導方法の工夫・改善 (サーキット運動、ピョンピョン前間、ランラン月間) 2 保健衛生指導と食育の推進 (1) 感染症予防の徹底 (2) 健康で規則正しい生活習慣の徹底 (3) 給食指導の充実、弁当の日の実施	【アンケート質問項目】 児童は、進んで運動に取り組んでいる。(体育の学習、星休 みの外遊び、休日の外遊び) (結果) 児童…3.7 保護者…3.3 地域…4.0 職員…3.5 体育指導と日常指導をしっかりと行いながら、運動会、 ロードレース大会の体育的行事で運動への意識を高めるこ とで、児童の運動意欲をもたせることができた。 【アンケート質問項目】 健康な生活を意識して学校生活を送っている。(エチケッ ト検査、手洗い、うがい、給食) (結果) 児童…3.5 保護者…3.3 地域…3.5 職員…2.9 毎朝の「は・て・つ・ぽ」の確認とエチケット検査で意 識は高まっている。しかし、個別指導を要する児童もみら れる。また、日常の給食指導や弁当の日実施で、食の大切 さについて、意識をもたせることができた。		1 体力向上プランの完全実施 体育科指導方法の工夫(安全と運動量の確 保)や遊具などを活用した体力の向上を図る。 また来年度も運動会、ロードレース大会の実施 し、運動意欲を高める。 2 保健衛生指導と食育の推進 家庭と協力しながら、毎朝の「は・て・つ・ ぽ」の確認とエチケット検査を継続し、健康で 規則正しい生活習慣の基礎を育成していく。		
コミュニケー ション力 の育成	1 地域人材を活用した学 習を取り入れることによ り、児童に地域を愛し積極 的に交流を図ろうとする 態度を育てる。 2 学社協働行事を意図 的、計画的に教育課程に 位置付けることにより、 コミュニティ・スクール の推進に取り組む。	○公民館とのタイアップ (公民館講座への児童の参加「魚さばき」など) ○学校支援ボランティアの充実 (ボランティアの募集、打ち合わせの工夫) ○社会に開かれた教育課程の編成 (細島版コミュニティ・スクールの実現) ○関係機関との連携 (細島区長会、HOSOSHIMA まちづくり協議会、民 生員連絡協議会との連携強化)	【アンケート質問項目】 児童は、地域人材を活用した授業に意欲的である。 (結果) 児童…3.5 保護者…3.1 地域…4.0 職員…3.6 公民館講座への児童の参加や学校支援ボランティアの活 用が継続でき、意欲的学習できた。 【アンケート質問項目】 児童は、細島地区や日向市が好きである。 (結果) 児童…3.7 保護者…3.6 地域…4.0 職員…3.7 細島区長会、HOSOSHIMA まちづくり協議会との連携を固 り、細島版コミュニティ・スクールの実現に向けて、継続 的な取組が実施できた。細島地区や日向市のよさの学習が、 細島を好きな児童の育成につながった。	4	公民館講座への児童の参加を継続し、各教科等 の年間指導計画に位置付け、学習支援ボランティ アの活用を含めた持続可能な取組を行う。 また、社会に開かれた教育課程の編成(細島版 コミュニティ・スクール)を行い、細島区長会、 HOSOSHIMA まちづくり協議会、連携し、新たな取 組を計画していく。	3	○ 挨拶がしっかりできる児童がいるが、まだま だできない児童もいる。 ○ 学校関係の方にはできるが、地域ではもっと 挨拶ができる児童になってほしい。せめて見守 り活動をしている方には、きちんと挨拶できる ようになってほしい。

	項 目	結 果	自己 評価	改善策	委員 評価	学校運営協議会での意見
小・中一貫教育推進委員会	1 グランドデザインは、自校の教職員で共通理解できている。	令和6年度学校経営案に掲載し、職員の共通理解を行った。 また、富島中学校区のブロック研修会を実施し、授業力向上を図った。学校運営協議会を合同で行い、各校の実践を発表し、理解を図った。	3	富島中学校区4校の教職員で児童生徒の課題を議論し、課題を生徒指導実践会議等で学校が担う内容と地域及び保護者が担う内容に分けるなど組織的・機能的に課題に対応する。グランドデザインについては、PTA総会で保護者へ示したり、地域へ回覧したりして周知を図る。	4	○ 地域行事に参加することが当たり前になってほしい。日ごろから、清掃活動など心がけることも大切である。 ○ 中学校と一緒にの挨拶運動などができるとよい。
	2 グランドデザインは、家庭や地域に理解されている。					
	3 めざす児童生徒像実現のために、富島中学校内の学校で共通実践が進められている。					
	4 小中一貫教育の取組により、めざす児童生徒像の姿に近づいている。					